

アカマダラハナムグリ *Poecilophilides rusticola* (Burmeister)

【選定理由】

平地から低山地に生息する珍しいハナムグリ類。県内では、少ないながら広い範囲で記録がある。猛禽類（ワシ・タカ類）の巢中に幼虫が見つかることが知られ、営巣の減少により個体数も減っているようである。

【形態】

体長 14～20mm。赤褐色で小黑点を散在する。腹面は、赤褐色の中胸突起を除き黒色。生時、新鮮な個体は鮮やかなオレンジ色であるが、標本になると黒ずんでしまうことが多い。

前脛節の外歯は 2 個。上翅には 9～10 条の縦条がある。

【分布の概要】

【県内の分布】

名古屋市、豊田市、蒲都市、豊川市、豊橋市などから記録がある。

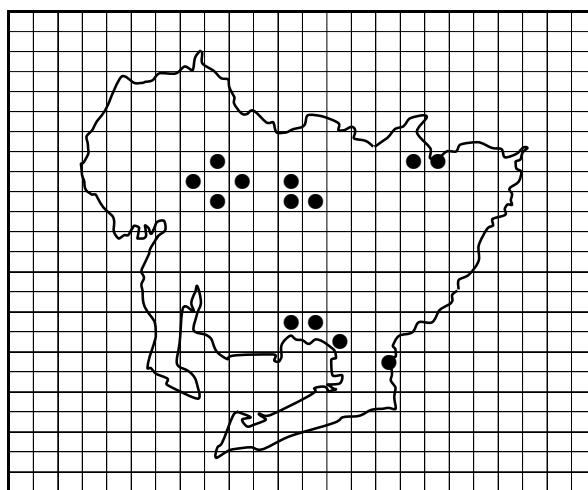
【国内の分布】

本州、四国、九州に分布する。

【世界の分布】

済州島、朝鮮半島、シベリア東部、中国、モンゴルに分布する。大陸産は別亜種 *P. rusticola sinensis* (E.Saunders) に分類される。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

平地から低山帯にかけての雑木林に生息する。成虫は 5 月から 8 月にかけて出現し、アベマキ、コナラなどの樹液に集まる。他県では、晩夏に多数の個体が集団となって発見された例がある。幼虫は猛禽類（ワシ・タカ類）の巢中で発見され、猛禽類の営巣と強いつながりがある。

【現在の生息状況／減少の要因】

都市化や平野部の里山の雑木林の荒廃により、猛禽類（ワシ・タカ類）の営巣が減少したことに関連して減少していると考えられる。

【保全上の留意点】

猛禽類（ワシ・タカ類）の保全が必要であるが、そのためにはまず里山の雑木林の荒廃を防ぐ手だてが必要である。

【関連文献】

松野更一・伴 憲隆・穂積敏文, 1990. 愛知県のコガネムシ科. 愛知県の昆虫, (上): 339-361. 愛知県.
酒井 香・藤岡昌介, 2007. 日本産コガネムシ上科図説 第 2 巻 食葉群 1: 95. 昆虫文献六本脚.
藤岡昌介, 2001. 日本産コガネムシ上科総目録: 113. コガネムシ研究会.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)